

令和4年度 北九州市立大蔵中学校 学校経営方針

- 生徒の実態
- 保護者や地域の願い
- 時代や社会の要請
- 本市や国の動向

- 【校訓】
- 自律 自ら考えて判断し、責任をもって行動しよう
 - 創造 自分の力を信じ、新しいものを生み出そう
 - 奉仕 勤労を喜び、社会のために役立つ人になろう

- 【北九州市の学校教育が目指す子どもの姿】
- ①自立し、思いやりの心をもつ子ども
 - ②新たな価値創造に挑戦する子ども
 - ③本市に誇りをもつ子ども

【学校教育目標】
校訓『自律 創造 奉仕』の精神をもとに、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成

- 【目指す学校像】
- 誰もが安心できる学校**
- 教職員が高い危機管理意識をもち、一致団結して教育活動に取り組む学校
 - 保護者や地域と協同する学校
 - さわやかな挨拶と「ありがとう」の言葉が飛び交う学校

- 【目指す生徒像】
- 互いを認め合い、挑戦する生徒**
- 将来を展望し、授業を大切にし、自ら学び努力する生徒
 - 自他を大切にし、人権尊重の精神に富む生徒
 - 心身ともに健康で、礼儀正しい生徒

- 【目指す教職員像】
- 共感し、共学し、協働する教職員集団**
- 生徒を大切にし、優しさや厳しさのある教育的愛情に満ちた教職員
 - 互いに研鑽し合い、専門職としての資質能力の向上を目指す教職員
 - 学校教育目標の達成に向け、協力的に役割を果たそうと努める教職員

【3つの重点目標と具体的方策】

1. 確かな学力、健やかな体の育成	①アクティブ・ラーナーを育てる授業づくり	●学び合いの「基盤づくり」 ●考えを深める「話し合う活動」と「書く活動」 ●学習評価の妥当性・信頼性を高めるための組織的な取組の推進	●課題意識をもつ「めあて」の設定 ●「まとめ」と「振り返り」は子ども自らの言葉で
	②ICTを活用した授業づくりと補充的な学習	●ICTを効果的に活用した授業づくりを組織的に進め、「協働的な学び」を実現する	●ドリルアプリを活用して、生徒の理解度に合わせた「個別最適な学び」を実現する
	③ユニバーサルデザインの推進	●教室環境のUD化	●学びのUD化
	④コグトレの推進	●認知機能強化トレーニングによる基礎学力の土台作り	
	⑤読書活動の推進	●「朝の10分間読書」の推進 ●ブックトークなど、「本を読みたい」気持ちを引き出す取組の推進	●生徒会活動と連携した「学級文庫」「ミニ図書館」の運営
	⑥家庭学習習慣及び運動習慣の確立	●自律的学習の確立←生徒・保護者アンケートを基にした生活習慣の見直し ●生徒会活動による主体的な啓発・取組の推進	●家庭・地域と連携した取組の推進
	⑦食育の充実	●給食のルールを共通理解を図り、徹底することで、主体的に取り組むようにする。 ●畑で食物を栽培する活動を通して、食を大切にする心を育む。	
2. 豊かな心の育成	①認め合い、高め合う学級・学校づくり	●一人一人の生徒に、役割を任せて、その仕事ぶりを認めて、自己有用感を育む。 ●(授業、学校行事等)学校教育活動全体を通して、互いの良さを認め合うようにする。 ●SUTEKI アンケートの活用	●「北九州子どもつながりプログラム」の実施
	②自律した生徒を育てる活動の充実	●学級目標を設定する等、学級会活動の充実を図る。 ●生徒の発想を取り入れた取組(大蔵中のロゴ作り、学年学校行事等)を推進し、仲間意識を高める。	●主体的な生徒会委員会活動
	③積極的な生徒指導の推進(いじめ・不登校の未然防止)	●教育相談活動の充実(←学期に1回以上のアンケートによる実態把握、相談しやすい環境作り) ●いじめの早期発見及びきめ細かな対応を図る校内組織体制の充実 ●中学校ミーティングを活用した、小中が連携した自発的ないじめの未然防止の取組 ●教室に入れない生徒への対応の充実(別室対応・関係機関との連携・スモールステップによる教室復帰)	
	④人権教育の推進	●各教科等での新版「いのち」を活用した授業の実施 ●教職員は、常に人権感覚を磨き、範を示すようにする。(校内職員研修の充実)	●感染症に関する偏見・差別を許さない取組
	⑤思いやる心の育成と規範意識の醸成	●「答えが1つではない課題に道徳的に向き合い、考え、議論する」道徳教育の着実な実施 ●規範意識育成教室(薬物乱用防止教室、暴力団排除教室、インターネット適正利用教室)の実施	
3. 社会や生き方と関わる教育の推進	①キャリア教育の推進	●系統的な進路学習の充実(高校調べ、職業調べ等) ●地域と連携した職場体験学習の実施 ●地域施設及び県内施設を活用した体験学習・社会見学の実施	●生き方を学ぶ講演会の実施
	②SDGs(持続可能な開発目標)を意識した活動の充実	●生徒会活動による主体的な啓発・取組の推進(積極的な応募等) ●各教科等の授業で、学習する内容が、SDGsのどのゴールに関連するのかわ、生徒に意識させる。	
	③防災・減災教育の推進	●地震・津波、火災、豪雨等を想定した実践的な避難訓練の実施 ●家庭・地域・関係機関と連携した防災・減災教育の推進 ●いのちをつなぐ未来館防災WEB動画の活用	
	④保護者、地域、校区小学校との連携	●北九州市型コミュニティ・スクール(大蔵小・大蔵中)への移行(学校運営協議会における熱議の充実) ●小中合同研修会の実施、3校校長会議・実務者会議の充実 ●学校からの情報発信の強化(学校HP、学校通信、学年・学級通信、保健だより等)	